

第 32 回腎癌研究会プログラム

日 時:平成 18 年 10 月 19 日(木) 18:00~21:00

場 所:京王プラザホテル 本館 4 階『花C』

第 44 回日本癌治療学会総会 第 8 会場

テーマ:「我々は腎癌をどこまで理解したか - 発生・進展・転移のメカニズム - 」

開会挨拶

(18:00~18:02)

特別講演

(18:02~19:02)

骨転移の病態と治療

司会:早川 正道 (防衛医科大学校 泌尿器科学教室)

演者:米田 俊之 (大阪大学大学院歯学研究科生化学講座)

共催 ノバルティス ファーマ株式会社

一般演題 Session 1

(19:02~19:38)

座長:藤井 靖久 (癌研有明病院泌尿器科)

1. 第 3 世代 ビスフォスフォネート製剤の腎癌に対する効果
湯浅 健 (秋田大学医学部泌尿器科)
2. ビスフォスフォネート製剤、incadronate、による腎細胞癌増殖抑制
藤本 直浩 (産業医科大学医学部泌尿器科)
3. 腎細胞癌における erythropoietin receptor の発現と臨床病理学的因子との関連性
伊藤 敬一 (防衛医科大学校泌尿器科学教室)

休憩

(19:38~19:45)

一般演題 Session 2

(19:45 ~ 20:21)

座長: 中村 英二郎 (京都大学医学部泌尿器科)

-
4. Adrenomedullin antagonist は血管新生抑制を介して
ヒト腎癌移植ヌードマウスモデルにおける *in vivo* 増殖を抑制する
土屋 邦彦 (北海道大学大学院医学研究科腎泌尿器外科)
 5. 腎癌細胞の浸潤能は HGF を介した線維芽細胞との "cross-talk" により増強される
西谷 真明 (徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部泌尿器科学)
 6. 「腎癌」の発生メカニズムの多様性を示唆する 3 症例:
RCC associated with Xp11.2 translocations / TFE3 gene fusions, Clear cell variant of
epithelioid angiosarcoma, および Mucinous tubular and spindle cell carcinoma
藤井 靖久 (癌研有明病院泌尿器科)

一般演題 Session 3

(20:21 ~ 20:57)

座長: 水谷 陽一 (京都府立医科大学泌尿器科)

-
7. 腎細胞癌株における HIF- サブタイプと VEGF の発現について
篠島 利明 (慶應義塾大学医学部泌尿器科)
 8. プロテオーム解析による腎細胞癌抑制遺伝子蛋白 pVHL の機能解析
中村 英二郎 (京都大学医学部泌尿器科)
 9. 腎癌の発生、進展のメカニズム解明のための二つのアプローチ
~ 原因遺伝子探索と網羅的遺伝子探索 ~
岸田 健 (横浜市立大学附属センター病院泌尿器科)

閉会挨拶

(20:57 ~ 21:00)